

## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2579 URL <https://www.ccbj-holdings.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) カリン・ドラガン  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務本部 コントローラーズ シニアグループ統括部長 (氏名) コーデュラ・トーマス TEL 03-6896-1707  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	616,774	△11.2	6,958	△59.3	△6,334	-	△4,670	-	△4,644	-	△11,446	-
2019年12月期第3四半期	694,763	△2.2	17,103	△40.1	△51,880	-	△55,650	-	△55,693	-	△54,877	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△25.90	-
2019年12月期第3四半期	△309.40	-

※事業利益は、事業の経常的な業績を計るための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものであります。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	966,337	493,298	492,860	51.0
2019年12月期	952,444	506,491	505,999	53.1

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	25.00	-	25.00	50.00
2020年12月期	-	0.00	-	-	-
2020年12月期(予想)	-	-	-	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	819,700	△10.4	0	△100.0	△9,700	-	△7,000	-	△7,000	-	△39.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	206,268,593株	2019年12月期	206,268,593株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	26,919,449株	2019年12月期	26,917,320株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	179,350,270株	2019年12月期3Q	180,002,117株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想とは大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、〔添付資料〕4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響が世界中で継続する中、当社は、顧客のみなさまに日常生活に必要な不可欠な製品・サービスの提供を継続すること、従業員の安全と健康を確保していくことを最優先としており、私たちのミッションである、すべての人にハッピーなひとときをお届けするという考えに基づき、包括的な対策を行いつつ、安全・安心な製品の供給を継続すべく事業活動を行っております。

当第3四半期連結累計期間(2020年1月1日～9月30日、以下「第3四半期累計期間」)における国内の清涼飲料市場は、COVID-19の感染拡大の影響を受けた外出減少に伴う需要減や7月の天候不順の影響等もあり、市場は前年同期比縮小と見えています。また、健康食品および化粧品市場におきましても、COVID-19による外出減少やインバウンド需要の落ち込み等の影響を受け、市場は縮小傾向と見られます。

このような中、当社は2019年8月に発表した中期計画の「これまでのやり方は選択肢にない」の方針のもと、重要なベンディングチャネルや間接部門を含むコスト構造の変革、製造能力の向上や売場の拡大といった顧客志向の投資や人材能力開発への投資を継続するなど、持続的な成長軌道への回帰に向けビジネスの抜本的改革を推し進めております。また、COVID-19の感染拡大による事業環境の急変への迅速な対応や即効性のあるコスト削減に注力するとともに、固定費比率の高い飲料事業のコスト構造変革を継続してまいりました。さらに、事業環境の急変を機に、現在進めている変革の取り組みを前倒しで実行しつつ、新たな機会を特定し、中長期的な事業環境の変化に備えた対応を進めております。

第3四半期累計期間につきましては、COVID-19の感染拡大の影響で3月以降飲料事業の販売数量が減少しており、第3四半期(7-9月)は最も影響を受けた第2四半期(4-6月)に比べ改善したものの、業績は以下のとおりとなりました。

なお、2020年11月13日(金)午後1時30分より開催の決算説明会資料を当社ホームページ(<https://www.ccbj-holdings.com/ir/library/presentation.php>)に掲載しておりますので、本決算短信の定性的情報と併せてご参照ください。決算説明会のライブおよびオンデマンド配信も当社ホームページにて提供しております。

### 当第3四半期のハイライト

- ・第3四半期は、販売数量、売上収益、事業利益が第2四半期に比べ改善し、事業利益はほぼ前年同期並み。第3四半期累計期間は、外出機会の減少等による需要減に加え、チャネル・パッケージミックス悪化等により、売上収益、事業利益は前年同期比11%減少、59%減少
- ・ベンディングの金額シェアは成長が続き、18ヵ月連続で前年同月比良化。手売り市場のシェアを改善すべく、需要の緩やかな回復にあわせ、第4四半期(10-12月)はターゲットを絞った販促投資を実行
- ・トップライン減少による利益減の影響を大規模なコスト削減により軽減しつつ、ベンディングやルートセールス活動の変革等の取り組みを加速
- ・アルコール飲料「檸檬堂」は引き続き好調に推移。増加する需要に対応した安定供給体制を目指し、京都工場にアルコール製造ラインを新たに導入
- ・10月5日に2020年の業績予想を発表。トップラインのマイナス影響継続を想定するも、コスト削減等の取り組みにより、事業利益はゼロを見込む。期末配当予想は1株当たり25円から変更なし
- ・COVID-19の影響によるさまざまな課題に直面する中、中期計画に基づき抜本的な事業変革を引き続き推進

## 業績の概要

第3四半期累計期間(1-9月)

(単位：百万円、販売数量を除く)

	2019年	2020年	増減率
売上収益	694,763	<b>616,774</b>	△11.2%
売上総利益	337,265	<b>290,027</b>	△14.0%
販売費及び一般管理費	318,810	<b>281,883</b>	△11.6%
その他の収益(経常的に発生した収益)	889	<b>582</b>	△34.5%
その他の費用(経常的に発生した費用)	2,150	<b>1,459</b>	△32.2%
持分法による投資利益(△は損失)	△90	<b>△310</b>	—
事業利益	17,103	<b>6,958</b>	△59.3%
のれんの減損損失	61,859	—	△100.0%
その他の収益(非経常的に発生した収益)	2,137	<b>1,782</b>	△16.6%
その他の費用(非経常的に発生した費用)	9,260	<b>15,074</b>	62.8%
営業損失(△)	△51,880	<b>△6,334</b>	—
親会社の所有者に帰属する四半期損失(△)	△55,693	<b>△4,644</b>	—
飲料事業 販売数量(百万ケース)	384	<b>344</b>	△11%

(参考) 第3四半期(7-9月)

(単位：百万円、販売数量を除く)

	2019年	2020年	増減率
売上収益	261,053	230,094	△11.9%
売上総利益	127,019	110,768	△12.8%
販売費及び一般管理費	113,608	97,984	△13.8%
その他の収益(経常的に発生した収益)	329	198	△39.9%
その他の費用(経常的に発生した費用)	693	404	△41.7%
持分法による投資利益(△は損失)	△66	△80	—
事業利益	12,980	12,497	△3.7%
その他の収益(非経常的に発生した収益)	897	1,782	98.7%
その他の費用(非経常的に発生した費用)	300	7,503	2,403.3%
営業利益	13,578	6,776	△50.1%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	8,872	1,807	△79.6%
飲料事業 販売数量(百万ケース)	147	132	△10%

\* 事業利益は、事業の経常的な業績をはかるための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものです。

第3四半期累計期間の連結売上収益は616,774百万円(前年同期比77,989百万円、11.2%減)となりました。飲料事業では、COVID-19の感染拡大により3月以降販売数量が減少し、また、夏場、特に7月の長雨や天候不順等による影響が続いたことなどから、売上収益は598,547百万円(前年同期比77,468百万円、11.5%減)となりました。ヘルスケア・スキンケア事業の売上収益は、2019年10月にコーポレートロゴとコーポレートスローガンの刷新、主力製品のリニューアル等を実施し、それ以降、新製品の投入や新たな販売チャネルの開拓等に取り組んでまいりましたが、COVID-19の影響等もあり、18,227百万円(前年同期比521百万円、2.8%減)となりました。

第3四半期累計期間の連結事業利益は、6,958百万円(前年同期比10,145百万円、59.3%減)となりました。飲料事業では、主に収益性の高いベンディングやコンビニエンスストア(CVS)チャネルの販売数量減少によるチャネルミックス悪化等により、売上総利益が減少し、人件費や販促費、その他の間接コストなどあらゆる分野で徹底的なコスト削減を実施したものの、事業利益は4,336百万円(前年同期比10,277百万円、70.3%減)となりました。ヘルスケア・スキンケア事業では、コスト削減や効果的な販促費の投下に努めたことにより、事業利益は2,622百万円(前年同期比132百万円、5.3%増)となりました。

連結営業損失は、前年第2四半期にのれんの減損損失61,859百万円があったこと等から、第3四半期累計期間は改善し、6,334百万円(前年同期の連結営業損失51,880百万円)となりました。なお、その他の収益(非経常的に発生した収益)には、第2四半期に実施した一時帰休に伴う休業手当費用(以下、一時帰休費用)に対する政

府からの雇用調整助成金1,782百万円が含まれております。その他の費用（非経常的に発生した費用）は、前年同期には希望退職プログラムにかかわる特別退職加算金等8,698百万円が含まれており、第3四半期累計期間には一時帰休費用2,841百万円、中期計画に基づく抜本的な変革の実行に係る事業構造改善費用3,440百万円と早期退職に伴う特別退職加算金等7,435百万円等が含まれております。

親会社の所有者に帰属する四半期損失は、前年同期比で改善し、4,644百万円（前年同期の親会社の所有者に帰属する四半期損失55,693百万円）となりました。

#### 飲料事業の販売数量動向

第3四半期累計期間の飲料事業の販売数量（増減率は前年同期比）は、3月以降、COVID-19感染拡大対策等の影響を受け減少が続き、11%減となりました。第3四半期は、COVID-19の影響を最も受けた第2四半期に比べ改善したものの、COVID-19の感染再燃や、7月の天候不順等により、10%減となりました。

アルコール飲料を除いた清涼飲料の販売数量は、第3四半期累計期間は12%減、第3四半期は11%減となりました。チャンネル別では、外出自粛や人の動きの減少、飲食店等の休業・営業時間短縮等の影響を受け、リテール・フード、ベンディング、CVSチャンネルが大きく減少しました。ベンディングは、金額シェア成長を維持しておりますが、特に人が集まる駅、学校、娯楽施設、オフィス等を中心に減少が続き、第3四半期累計期間の販売数量は14%減となり、売上ミックスに大きく影響しました。リテール・フードでは、オンラインチャンネルの急成長は続いているものの、飲食店の集客低迷により特にフードチャンネルが大きく減少し、30%減となりました。CVSは、来店者数の減少や競争環境の厳しさ等により12%減となりました。一方、ドラッグストア・量販店チャンネルは、来店者数、家庭内消費やまとめ買いの増加により、2月以降成長が続き、7%増となりました。スーパーマーケットは、お客さまの来店頻度や購入スタイル変化等への対応に努めたものの、1%減となりました。

清涼飲料の製品カテゴリー別では、炭酸は、「コカ・コーラ ゼロ」のリニューアルや新製品「ファンタ プレミアグレープ」等の貢献があったものの、12%減となり、無糖茶は10%減少しました。コーヒーは、「ジョージア ジャパンクラフトマン」や新製品「ジョージア ラテニスタ」の貢献等でPETボトルコーヒーは成長したものの、缶やボトル缶製品の減少が響き、8%減となりました。スポーツは、第3四半期に改善の兆しが見られたものの、市場全体が減少したことや大型PETの不振により11%減となりました。水は、ドラッグストア・量販店チャンネルやスーパーマーケットで大型PETは成長したものの、即時消費機会の減少による小型PETのマイナスが響き、6%減となりました。

アルコール飲料「檸檬堂」は、2019年10月の当社全エリア展開以降、計画を上回って好調に推移し、第3四半期累計期間の販売数量は573万ケースとなりました。

#### (2) 連結財政状態に関する説明

第3四半期連結会計期間末の総資産は、966,337百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,893百万円増加しました。これは主に現金及び現金同等物の増加、供給能力拡大に向けた戦略投資による有形固定資産の増加等によるものです。

負債は、473,039百万円となり、前連結会計年度末に比べ27,086百万円増加しました。これは主に不透明な環境が続く中、十分な流動性の確保とキャッシュへのアクセスを図るべく、4月に50,000百万円を短期借入れで調達したことにより、社債及び借入金が増加したこと等によるものです。

資本合計は、493,298百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,193百万円減少しました。これは主にその他の包括利益の減少や期末配当金の支払いによる利益剰余金の減少によるものです。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

COVID-19の影響等を鑑み未定としておりました通期の業績予想を2020年10月5日に発表しており、業績予想の変更はありません。また、期末配当予想も2020年8月12日の発表から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	113,825	128,465
営業債権及びその他の債権	98,528	94,491
棚卸資産	74,120	78,112
その他の金融資産	752	999
その他の流動資産	17,587	20,700
流動資産合計	304,812	322,767
非流動資産		
有形固定資産	467,136	473,896
使用権資産	39,629	33,654
のれん	27,021	27,021
無形資産	67,123	66,678
持分法で会計処理されている投資	310	285
その他の金融資産	33,499	27,690
繰延税金資産	6,093	6,310
その他の非流動資産	6,820	8,035
非流動資産合計	647,632	643,569
資産合計	952,444	966,337

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	122,364	111,470
社債及び借入金	17,261	67,094
リース負債	6,634	7,226
その他の金融負債	916	1,730
未払法人所得税等	1,104	2,243
引当金	20	20
その他の流動負債	19,886	17,517
流動負債合計	168,186	207,300
非流動負債		
社債及び借入金	188,487	187,489
リース負債	34,138	27,615
その他の金融負債	—	353
退職給付に係る負債	24,908	26,597
引当金	2,104	2,161
繰延税金負債	24,876	17,995
その他の非流動負債	3,254	3,529
非流動負債合計	277,767	265,738
負債合計	445,953	473,039
資本		
資本金	15,232	15,232
資本剰余金	450,526	450,757
利益剰余金	121,372	112,358
自己株式	△85,649	△85,653
その他の包括利益累計額	4,517	165
親会社の所有者に帰属する持分合計	505,999	492,860
非支配持分	492	439
資本合計	506,491	493,298
負債及び資本合計	952,444	966,337

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	694,763	616,774
売上原価	357,499	326,746
売上総利益	337,265	290,027
販売費及び一般管理費	318,810	281,883
のれんの減損損失	61,859	—
その他の収益	3,026	2,365
その他の費用	11,410	16,533
持分法による投資利益(△は損失)	△90	△310
営業損失(△)	△51,880	△6,334
金融収益	872	611
金融費用	840	823
税引前四半期損失(△)	△51,848	△6,546
法人所得税費用	3,802	△1,875
四半期損失(△)	△55,650	△4,670
四半期損失(△)の帰属：		
親会社の所有者	△55,693	△4,644
非支配持分	43	△26
基本的1株当たり四半期損失(△)	(円) △309.40	△25.90

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期損失(△)	△55,650	△4,670
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
確定給付制度の再測定	1,785	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△325	△3,364
小計	1,460	△3,364
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△686	△3,411
小計	△686	△3,411
その他の包括利益合計	773	△6,775
四半期包括利益	△54,877	△11,446
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	△54,920	△11,420
非支配持分	43	△26

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 包括利益 累計額			
2019年1月1日残高 (修正表示前)	15,232	450,533	182,418	△72,651	4,915	580,448	458	580,906
I F R S 第16号適用開始による調整	—	—	△338	—	—	△338	—	△338
2019年1月1日残高 (修正表示後)	15,232	450,533	182,080	△72,651	4,915	580,110	458	580,568
四半期包括利益								
四半期損失(△)	—	—	△55,693	—	—	△55,693	43	△55,650
その他の包括利益	—	—	—	—	773	773	—	773
四半期包括利益合計	—	—	△55,693	—	773	△54,920	43	△54,877
所有者との取引額等								
剰余金の配当	—	—	△9,071	—	—	△9,071	△22	△9,093
自己株式の取得	—	△64	—	△12,998	—	△13,061	—	△13,061
自己株式の処分	—	△0	—	3	—	2	—	2
株式に基づく報酬取引	—	30	—	—	—	30	—	30
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替	—	—	2,355	—	△2,355	—	—	—
その他の包括利益累計額から非金融資産への振替	—	—	—	—	△96	△96	—	△96
所有者との取引額等合計	—	△34	△6,716	△12,995	△2,451	△22,196	△22	△22,218
2019年9月30日残高	15,232	450,499	119,670	△85,645	3,238	502,994	479	503,473

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 包括利益 累計額			
2020年1月1日残高	15,232	450,526	121,372	△85,649	4,517	505,999	492	506,491
四半期包括利益								
四半期損失(△)	—	—	△4,644	—	—	△4,644	△26	△4,670
その他の包括利益	—	—	—	—	△6,775	△6,775	—	△6,775
四半期包括利益合計	—	—	△4,644	—	△6,775	△11,420	△26	△11,446
所有者との取引額等								
剰余金の配当	—	—	△4,484	—	—	△4,484	△28	△4,512
自己株式の取得	—	—	—	△6	—	△6	—	△6
自己株式の処分	—	△1	—	3	—	2	—	2
株式に基づく報酬取引	—	232	—	—	—	232	—	232
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替	—	—	114	—	△114	—	—	—
その他の包括利益累計額から非金融資産への振替	—	—	—	—	2,538	2,538	—	2,538
所有者との取引額等合計	—	231	△4,370	△4	2,424	△1,719	△28	△1,747
2020年9月30日残高	15,232	450,757	112,358	△85,653	165	492,860	439	493,298

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの事業セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会（最高経営意思決定者）が経営資源の配分の決定をするために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは製品・サービス別に組織運営体制を確立しており、製品の種類・性質、販売市場等をもとに、「飲料事業」および「ヘルスケア・スキンケア事業」の2つを事業セグメントおよび報告セグメントとしております。当社グループは以下の事業を識別しており、報告セグメントを形成していない事業セグメントおよび集約した事業セグメントはありません。

報告セグメント	事業内容
飲料事業	日本におけるコカ・コーラ等の炭酸飲料、コーヒー・紅茶飲料、ミネラルウォーターの仕入、製造・販売、ボトリング、パッケージ、流通およびマーケティング事業、自動販売機関連事業
ヘルスケア・スキンケア事業	「ケール」を原料とする青汁等の製造・販売、健康食品、化粧品等関連商品の製造・販売

取締役会は、各セグメントの業績評価を同業他社と比較して行うために、一般に公正妥当と認められる会計基準（IFRS）に準拠して報告された営業利益に基づいて行っております。

前第3四半期連結累計期間および当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの情報は以下のとおりであります。

なお、前第3四半期連結累計期間の飲料事業において、のれんの減損損失61,859百万円を計上しております。

前第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整	合計
	飲料事業	ヘルスケア・スキンケア事業	報告セグメント合計		
外部顧客への売上収益	676,015	18,748	694,763	—	694,763
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—
売上収益合計	676,015	18,748	694,763	—	694,763
セグメント利益又は損失（△）	△54,369	2,489	△51,880	—	△51,880
調整項目：					
金融収益					872
金融費用					840
税引前四半期損失（△）					△51,848

当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整	合計
	飲料事業	ヘルスケア・スキンケア事業	報告セグメント合計		
外部顧客への売上収益	598,547	18,227	616,774	—	616,774
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—
売上収益合計	598,547	18,227	616,774	—	616,774
セグメント利益又は損失（△）	△8,953	2,619	△6,334	—	△6,334
調整項目：					
金融収益					611
金融費用					823
税引前四半期損失（△）					△6,546